



進路だより 「神の川」

大学入学共通テスト増刊号

伊集院高校進路指導部
令和3年10月22日発行

人よりもほんの少し多くの苦勞，人よりもほんの少し多くの努力で，
その結果は大きく違ってくる。 鈴木 三郎助 (味の素 創業者)

大学入学共通テスト出願完了！

令和4年度大学入学共通テストが来年1月15日（土）、16日（日）に実施されます。このテストを皮切りに、本格的な大学入試シーズンが始まります。

大学入学共通テストは、国公立大学を希望する生徒には必須で、また一部の私立大学の入試にも利用できることから全国で約502,000人が受験します。内訳は現役生約433,500人、既卒者68,500人です。本校からは165人（3年生の75%）が受験します。

令和3年4月1日の鹿児島市の推計人口が約593,000人であることを考えると、その規模の大きさが推察できます（日置市の人口は約4万人）。

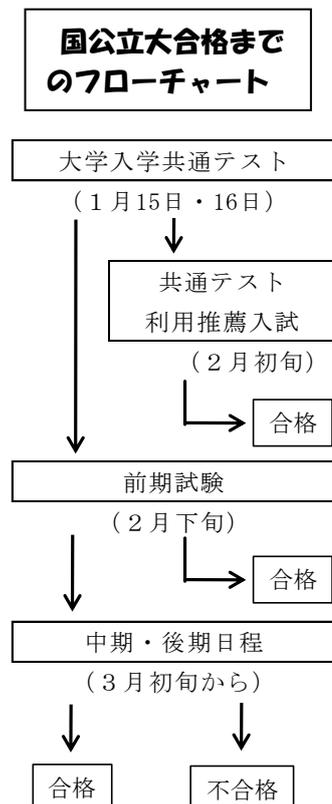
国公立大学を志望する3年生には、この後、各大学が実施する「個別学力試験」の前期日程が2月25日から開始され、この試験の成績とセンター試験での成績の合計点数により、上位者から「合格」が決まります。ですから、この大学入学共通テストでできるだけ得点しておくことが国公立大学の入試では大切です。

残念ながら前期日程で不合格になっても、3月初旬から始まる「中期日程」「後期日程」と受験のチャンスは続きます。

すなわち、国公立大学に合格するためには「基礎学力」はもちろんですが、「最後まであきらめない」強い精神力、執念も必要です。

また、地元の大学に固執せず全国の国公立大学を視野に入れ、自分が「学びたい学問」がある大学を受験することも進路実現に向けて大切です。

大学入学共通テストまで残り約85日。体調管理も受験の一環です。3年生には健康に留意し、最後まであきらめず、頑張っ
て欲しいと思います。



ROAD TO 大学入学共通テスト

全国の国公立大学の総定員が約13万人ですから、単純計算すると約3.86倍の競争率になります。すなわち、3.86人に一人しか国公立大学には合格できないということです。

1・2年生の皆さんも「高校入試」を経験し、この伊集院高校に晴れて入学したわけですが、高校入試における倍率は高くても2倍を超えることはありません。「大学入試」は全国のライバル達との競争になり、倍率は平均すると4倍近くなります。「高校入試」の合格体験は「大学入試」にそのままあてはまりません。

具体的に言うと、「高校入試」の前に半年ほど一生懸命勉強して志望校に合格した体験は、範囲の極めて広い「大学入試」にはまったく通用しないということです。

皆さんが第一志望の国公立大学に合格するためにできることはただ一つ、「早くからの受験勉強」だけです。

今回大学入学共通テストを受験する約50万2千人のうち86.4%が「現役生」です。すなわち、「高校3年間でどれだけ学習してきたか」の勝負と言えるでしょう。

1年生の皆さんが大学入学共通テスト試験を受験するまで、**約815日**

1年生は今のうちに国語、数学、英語を中心に得意教科を作り、それを伸ばす努力をしましょう。やはり、「学年+1時間」の宅習時間が全国のライバルに勝つためには必要です。

大学入学共通テストの出題範囲は「教科書」だけからです。毎日の授業を真剣に受けて、予習復習を行うことが受験勉強につながります。「受験を意識した学習」を早期に始め、自分の学力の到達度を対外模試等を利用して確認することを徹底しましょう。

2年生の皆さんが大学入学共通テストを受験するまで、**約450日**

2年生は第一志望の国公立大学に合格するためにできることはただ一つ、「早くからの受験勉強」だけです。

得意科目を伸ばすのはもちろんですが、苦手科目から逃げることはゆるされず、克服することが必要です。大学入学共通テストでは最終的に「バランス」が大事になります。得意科目で良い点数を取っても、苦手科目で失敗してしまっては総得点は伸びません。

校外模試等を利用して自分の現時点での“全国での立ち位置”を確認するとともに、自分の苦手科目の“特にどの分野”が弱いのかを分析し復習する等、戦略を立てて取り組みましょう。

毎日の「学習の積み重ね」こそが、「第一志望合格」への近道なのです。

一般的に、受験は「団体戦」と言われます。学習に向かう雰囲気、頑張れる環境を学年全員で作らなければなりません。受験においては一人一人が主役なのです。



皆さんの大学入学共通テストまでのカウントダウンはもう始まっています！